

SEDIA

SMILE BOOK



つながる仕事

水や電気や暮らしだけじゃない。生活インフラの現場は、
夢や希望や未来への可能性もつないでいる。



Vol.

18

2024

セディアグループ

生活インフラは 共創でできている。

生活インフラの仕事は、未来へ快適さをつなげる仕事。
その現場もまた、AIでは成し得ない、
人と技術と想いがつながる、共創の宝庫でした。

商品を作る企業。商品を仕入れて、届ける企業。
その商品を使って工事をする企業。
昔も、今も、これからも、生活インフラは共創でできています。
生活インフラを支える一員である渡辺パイプもまた、
お客さま、メーカーさま、さらに異業種の企業さまと
さまざまな取り組みを推進して、未来へ続く共創を行っています。
今回のスマイルブックは「つながる仕事」をテーマに、
共創が生まれる現場を取材するとともに、
渡辺パイプの未来へ向けた取り組みをご紹介します。

SEDIA
SYSTEM

SMILE BOOK

Vol.18

つながる仕事

Towards some connected works.

Contents

03	社長メッセージ
05	つながる仕事の原点、その1 セディアプレイス
07	つながる仕事の原点、その2 ホームステイ研修
09	つながる仕事の原点、その3 スキルアップ商品研修
11	第1章 共創が生まれる現場へ。
13	北海道電力株式会社 218
17	株式会社アスカ商会 219
21	株式会社岡田管工 220
25	第2章 共創が育む未来へ。
27	株式会社 SaTi ^{サティ} 221
31	共和ハウジング株式会社 222
35	藤井商事株式会社 223
39	渡辺パイプの共創の取り組み。
41	セディア・サステナビリティ

生活インフラの未来のために、 つながる取り組みを 加速させていきます。

生活インフラの仕事は共創でできていると思っています。住まいはもう、大工さんが一人で建てているわけではありません。いろいろな会社、いろいろな職人さんが技能を発揮して完成へと向かいます。渡辺パイプはいつの時代もその一員です。商品で、配送で、ネットワークで、サービスで、共に生活インフラの向上へ貢献しています。

渡辺パイプの強みは、お客さまやメーカーさまとのリアルなつながりにあります。そこに商品や情報、物流やデジタルによるつながりを付加して、次代の価値を生み出そうとしています。

例えば持ち前のリアルな物流ネットワークと新たな配送システムの共創からどのようなサービスが生まれるか？人と人のリアルなつながりに、デジタルの可能性をプラスすれば、お客さまの課題に応えられるサービスが生まれないか？つながる場を設ければ、ある出会いから新たな価値が育てられないか？中には試行錯誤中の取り組みもありますが、可能性があるところで挑み続けることが渡辺パイプのスタイルです。

今回のスマイルブックでは「つながる仕事」をテーマに、お客さまやメーカーさまとの共創の取り組みにフォーカスしています。現場の確かな仕事の背景にあるつながりや、新たな共創が動き出そうとしていることを感じていただければ幸いです。では、ゆっくりとご覧ください。

渡辺パイプ株式会社 代表取締役社長 渡辺 圭祐

T O P M E S S A G E



CO-working space **SEDIA Place**



OSAKA

渡辺パイプ
つながる仕事の原点、
その

1

共創の場を作る。

東京に次いで、大阪にも誕生。
共創の場としてのセディアプレイスが動き出す。

渡辺パイプが新たなビジネス創出の場を作りました。
その名は「セディアプレイス」。東京に次いで、2023年に大阪にも誕生しました。
働く場所だけでなく、交流を育み、新たな創造のきっかけとなる場づくり。
次の共創へ動き出すセディアプレイスをご紹介します。



コワーキング・スペースを共創の場へ。
その誕生と取り組みを追う。

東京都西新宿に誕生したときはコワーキング・スペースだった。人が集まり、交流が育まれると、新しいビジネス創出の場に成長していった。それがセディアプレイス。立ち上げから中心的役割を担う渡辺パイプの青木俊輔は言う。「会員の仕先さまと渡辺パイプ、会員の仕先さま同士の距離がここは近いんです。初めはちょっとした相談事だったのが、会話が弾んでイベント開催や商品開発へつながることもあります。2021年1月の誕生以来、展示会や会員交流会を数十回以上開催し、300名以上の弊社得意先さまのお客さまが来場されており、想像以上のスピードで展開しています」。メーカー同士のコラボによる新商品も開発されている。その実現には、渡辺パイプが間にいることも

大きいと青木は言う。「仲人的立場の渡辺パイプがいると、仕先さまも交流しやすいようです。メーカーさま同士のコラボレーションも実現しています」。企業に課題がある。応える企業がある。渡辺パイプが間をつないでいく。フローリングメーカーの認証を得た電気床暖房など、ここから新しい商品開発なども色々と進んでいる。「デジタルでつながることも大切。一方でリアルな場で新しいビジネスをつなぐことも私たちの役目です」と青木は言う。そして2ヵ所目、2023年7月、大阪に誕生。現在までに30社を超える仕先さまが参加した。これからどのようなつながりが生まれ、展開が始まるのか。期待は高まる一方だ。

SEDIA Place 新宿 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル1F 営業時間：平日9:00～17:00
お問い合わせ：TEL.03-6478-1335(本社 広報・社長室グループ内)

SEDIA Place 大阪 大阪府大阪市浪速区稲荷1-4-7 営業時間：平日9:00～17:00
お問い合わせ：TEL.03-6478-1335(本社 広報・社長室グループ内)

商品以外に学ぶのは、
お客さまが必要としていること。

渡辺パイプ
つながる仕事の原点、
その

2

お客さまを知る。

お客さまの近くへ。
お客さまのために。
渡辺パイプのすべては
ここから始まる。

お客さまを知ることから、ソリューションもサービスも、そして価値ある共創も生まれるというのが渡辺パイプの考え。毎年、ホームステイ研修を実施する理由もそこにある。新入社員を1ヵ月の間、お客さまの会社にお預けし、工を手伝い、現場の厳しさと仕事の意義を学ぶ。大阪北サービスセンターの浦山智樹は小阪設備工業で10月を過ごした。ある日の浦山を取材すると「楽しいです」という元気な答えが返ってきた。「私たちが運ぶ商品は箱に入っていますがその中の商品がどのように使われているのかは知りませんでした。商品は現場でこのように設置され、機能しているのか！研修はそんな発見の連続です」と笑顔で言う。

研修先の小阪設備工業は北大阪一円で給排水工事を請け負っている企業。幅広い工事のスキルを持つ会社の現場は最高の学びの場だ。同社の仲野さんは「商品の欠品がその日の工事にどのような影響をもたらすのか、現場の仕事の感覚を体感してもらえればありがたい」と新入社員を受け入れる理由を教えてくれた。それを聞いた浦山はこう言う。「パソコンのキーボードを叩くことだけがSEの仕事ではないと思いますし、画面上ではわからないこともあります。商品以外にお客さまがどのようなことを必要としているのか、それを学びたい」。さまざまな発見と学びはSEとしての浦山の行動を変えていくことだろう。現場にはお客さまの満足と信頼へつながるすべてがある。まさにいつの時代も現場は学びの宝庫なのだ。



お客さま待遇ではなく、小阪設備工業の新入社員のよう指導を受け、現場を学ぶ。



「先日は鉄筋のスリーブの取り付け工を手伝いました。泥だらけになりましたが、住む方のために必要な仕事であるとわかりました」と浦山は笑顔で言う。



小阪設備工業の方々とお客さまに愛されることも、SEには必要なことだと浦山は体感した。

渡辺パイプ
つながる仕事の原点、
その

3

商 口 口 を 知 る。 。



商品がどのように機能して、快適性を生み出しているのか。
その役割、そのつながりを学んでほしい。

お客さまを知ることに加えて渡辺パイプが大切にしていることがある。商品を知ることだ。水工と住建のサービスセンターに配属された新入社員にはメーカー研修がある。それが「スキルアップ研修」。新入社員は全国から福島県にあるLIXIL 総合技術研修センターへ向かい、1泊2日で、建物の構造講習を中心に建築基礎知識と商品についてみっちり学ぶ。特長は座学だけでなく、体感すること。広大な研修施設にはスケルトンの木造住宅があり、台所や浴室なども含まれ、内部の構造や商品の役割、さらに図面を読む講習や、実習室で寸法を測って商品を組み立てる研修も行う。研修を受け持つLIXILの西川寿人さんは言う。「普段は隠されている“住まいの裏側”を知ってもらうことに重点を置いています。住まいの中で商品がどのようにつながって快適性を

保っているのか。その役割、その機能を学んでほしい」。これまで内部構造を見る機会はほとんどなかった新入社員たち。誰もが興味津々で、目を輝かせていた。「住まいの構造がわかると現場に出るのが楽しみになる」「名前だけ知っていた商品が、どのように設置されて、機能しているのかを目の当たりにした」など、カタログではわからない機能や働きを知り、感動すら覚えているようだ。九州からやってきた新入社員は、「扱っている商品がどのようにつながって快適性を生み出しているか。それを踏まえて仕事をするSEにならなくてはお客さまの期待には応えられないと学びました」と言った。研修後のこの言葉がすべてを物語っていると思う。そしてこの学びはとても重要だ。つながる仕事もまたここから生まれるものだから。

株式会社LIXIL 総合技術研修センター 福島県須賀川市



詳しくは知ることのなかった住まいの裏側を実際に見て、触って、体感する渡辺パイプの新入社員たち。学ぶことが多く、誰もが目を活き活きとさせていた。



オンラインではわからない

商品のリアルな機能を、住まいの裏側から学ぶ。



Chapter

1

共創が 生まれる 現場へ。

To the workplace where co-creation is born.

生活インフラの現場は、いつの時代も共創の宝庫だ。

人と人、人と技、技と商品のつながりが
元気で快適な生活インフラを造っていく。

渡辺パイプもその一員として、
お客さまとつながるさまざまな取り組みを行っている。

お客さまと渡辺パイプの間の、そのつながる取り組みはどのようなものなのか？
現場ではどのようなつながる仕事が積み重ねられているのか？

全国のお客さまと渡辺パイプのつながる仕事を求めて
現場を訪れた。



つながる仕事

発電の排熱で、ハウス栽培を。

北海道電力の新たな取り組み。
それに応える実績が
渡辺パイプにはある。

218

北海道電力株式会社

上)発電所内に運ばれた石炭を細かくすりつぶして粉末にする微粉炭機の点検作業。 下)火力発電所内で次回の改修工事の打ち合わせをする。



排熱を有効利用したハウス施設の数々の実績。 電気設備以外に渡辺パイプとつながる可能性が立ち上がる。

とまとうあつま
苦東厚真発電所は北海道の電気を支えている火力発電所。敷地内には1号機、2号機、4号機の3つの発電機があり、総出力は165万kW。北海道で使用される電気の3割強を発電している。渡辺パイプとの取り引きは長い。「電灯やケーブルや変圧器ブレーカーなど、さまざまな電材を届けてもらっています」と所長である菅原岳宏すがわらたけひろさんは教えてくれる。取材の日もSEの石崎潤一が電気

保守課の山崎忍さんと打ち合わせをしていた。北海道電力は「苦東バイオマス発電合同会社」に出資し、現在は苦東厚真発電所にてバイオマス専焼発電設備の設計・建設業務に対する技術支援を実施している。「化石燃料の発電は、将来的には縮小していかなければなりません。目的は次代のクリーンエネルギーへの挑戦です」と菅原所長は言う。

実は渡辺パイプ代表取締役社長の渡辺圭祐が北海道電力を訪問した際、そのプロジェクトのことが話題に上った。同席していた苫小牧電工サービスセンター所長の池田は言う。「渡辺パイプにはグリーン事業部があって、排熱を利用したハウス設備や栽培の実績が多く

あることをお知らせすると、菅原所長は驚かれています。電気設備以外のつながりが生まれる可能性がある」と話は盛り上がりました。バイオマス専焼発電設備の運転開始は2025年4月。北海道の持続可能な未来へつづく取り組みだ。いざ共創となれば全力でお応えできる実績が渡辺パイプにはある。



北海道電力株式会社 苦東厚真発電所

くとうあつま
北海道勇払郡厚真町

事業内容：火力発電による発電と供給、他
<https://www.hepco.co.jp/>

所長 菅原 岳宏さん

渡辺パイプとは長い付き合いです。しかし排熱を利用したハウス栽培の実績があるとは知らず、ネットワークの広さに驚いています。将来的にバイオマス発電などクリーンエネルギーの排熱を利用したハウス栽培などにつながることを期待しています。



グリーンハウス

グリーン事業部は数々のグリーンハウスを開発。さらに栽培システムからハウス設備まで、次代を担う営農家さまにお応えしています。排熱を利用したハウス栽培の実績も多数。



01) 聴診棒で発電機の中のタービンの回転状態を確認する。02) 苦東厚真発電所の所員の方と一っしょに現在進行中の改修工事を見守る。03) 現在建設中のバイオマス専焼発電設備。運用は2025年4月を予定。04) 高温高圧の蒸気でタービンを回して電気を起こす発電機を確認する。05-06) 発電所の運転を維持管理する所員のみなさん。07) 中央操作室ではボイラ、タービン、発電機など各機器の操作、監視を行っている。08) 発電所内を回ったあと、電気保守課の山崎忍副長と改修工事の具体的な商品の打ち合わせをする石崎SE。

つながる仕事 渡辺パイプにグリーン事業があり、排熱利用のハウスの実績を知ること、新たなプロジェクトとのつながりが生まれようとしている。

つながる仕事

デジタルで、課題に応える。

お客さまと現場を知る
渡辺パイプだからこそできる、
デジタルソリューションと共創がある。



219

株式会社アスカ商会

左)協力会社との信頼も厚い。職人が下水工事の配管作業をテキパキと進める。 右)マンションの配管工事の現場に来た渡辺パイプの今里SE。社員や職人さんから声がかかる。



遠方の工事の依頼を受けたい。けれど人手をどうするか。
職人の課題にも渡辺パイプがデジタルで応えようとしている。

「確かな工事は、人と商品があってこそ」とアスカ商会代表取締役の孤杉貴史^{こすぎたかし}さんは言う。渡辺パイプが商品を揃える機能と届ける機能を磨く理由もそこにある。「渡辺パイプとは先代からのお付き合い。50年以上になります。商品が揃う、納品が早い、価格も適切。だから何かと頼っています」と孤杉さんは渡辺パイプの今里SEに笑顔を送る。現場を訪れた今里SEにアスカ商会の社員から頻りに声がかかる。笑顔と冗談も飛び交う。今里SEは、お客さまに愛されていることがよくわかる。アスカ商会の受注先は民間の建設会社が多い。日本中で事業を展開している企業もある。アスカ商会の技術を見込んで、大阪以外の物件の依頼が寄せられる。「淡路島の物件の時は『スマイルブック』に登場していた現地の会社を渡辺パイプに紹介してもらいました。

繁忙期だったので依頼は叶わなかったのですが」と孤杉さんは言う。その後、渡辺パイプの「セディア・コネクト」を知った。「遠方の工事の場合、経費のことを考えると現地の職人をお願いの方が合理的。しかし工事の質を考えると職人は誰でもいいというわけにはいきません。その点、我々の仕事をよく知る渡辺パイプがマッチングする職人なら安心。心強いソリューションです」と孤杉さんは笑顔で言う。現場を知り、お客さまを知り、全国で展開している渡辺パイプだからこそできるマッチング。そこから生まれる確かな工事もまた、お客さまと渡辺パイプとの共創のひとつなのだ。

株式会社アスカ商会
大阪府大阪市

事業内容：給排水衛生設備工事、空調調和設備工事、他
<https://kk-asuka.com>

代表取締役 孤杉 貴史さん

私どもは60年にわたり空気調和や衛生設備の工事を行ってきました。最近では異業種から入社する社員が増えました。大変な仕事だけれど完成したときにはお客さまの笑顔がある。渡辺パイプもそのスマイルを広げるパートナーです。頼りにしています。



セディア・コネクト

セディアグループのネットワークを活かし、遠方の施工店さまや新しい元請さまをマッチング。デジタルを使った、新たな仕事の機会を創出する施工店ネットワークサービスです。



01-04)その笑顔を見ているだけでいい仕事を重ねていることがわかる。02)配管工事の片隅で進捗状況を確認する。03)黙々と仕事を重ねる。その背後で確かな仕事を物語る。信頼がある。05-07)協力会社との付き合いは長い。確かな仕事で信頼を育み、次の仕事へつながっている。06)建設会社の現場管理の方と打ち合わせ。ふたりの笑顔から信頼の深さが伺える。08)アスカ商会の田淵さんと打ち合わせをする渡辺パイプの今里SE。可愛がられることもSE業務の大切な要素とわかる。

つながる仕事

渡辺パイプの「セディア・コネクト」。
確かな職人をマッチングすることで、新たなつながりが生まれていく。

つながる仕事

確かな仕事の依頼先。

相談を受けたときにまず浮かぶ依頼先。
そのつながりは
デジタルになっても変わらない。



220

株式会社岡田管工

上)納品先の現場で言葉を交わす岡田管工の加来光介さんと渡辺パイプの其田SE。会話はつながりの第一歩である。下)気温0度、底冷えの厳しい現場でも細かな工事をテキパキとこなしていく。



セディア・コネクトでも真っ先に思い浮かぶ施工会社。
つながりから仕事が始まり、仕事が次の仕事を生んでいく。

「営業はしたことがないんです。ホームページも用意していません」と笑顔で言うのは岡田管工の代表取締役、岡田征士さん。久留米市の会社で腕を磨き、20年前に地元の春日市で独立をした。「人に恵まれました。人や仕事を紹介してくれる方がたくさんいました。この20年はつながりのお陰です」と岡田さんは言う。しかし、つながりだけで会社を維持できるほど世の中は甘くない。依頼先の期待に応える確かな仕事を重ねているから、つながりが絶えないのだろう。

岡田管工と渡辺パイプのつきあいは長い。「商品が揃う。必要な時に届く。見積りも速い。今では仕入れの7~8割は渡辺パイプですね」と岡田さんは笑顔で教えてくれる。取材のときに配送にやってきた其田SEは「弊社も岡田管工さんにはお願いを聞いてもらってきました」と笑顔で言う。渡辺パイプは、遠方で仕事が発生したお客さまから、その地元の施工会社を紹介してほしいと相談されることがある。岡田管工は「セディア・コネクト」に登録していて、福岡南サービスセンターでは依頼が寄せられると、まっさきに思い

浮かぶ施工会社だという。「最近も岡山の会社からの相談をいただきました。実現はしませんでした。これも渡辺パイプ経由のお話でした」と岡田さんは振り返る。「受注は地元の工事に限ってききましたが、今後はタイミングが合えば遠方の工事も考えています」と岡田さん。確かさでつながれば発注する企業も、受ける企業も笑顔の仕事になる。つながりのベースに確かさがあるところは強いと改めて思った。



株式会社岡田管工

福岡県春日市

事業内容：給排水設備工事、空調設備工事

代表取締役 岡田 征士さん

空調の設計監理のスペシャリストと出会い、給排水設備工事以外に空調設備工事に取り組むようになりました。つながりや出会いから次へ進みたいと考えています。渡辺パイプは空調機器の取り扱いも充実しているのでありがたいですね。



セディア・コネクト

セディアグループのネットワークを活かし、遠方の施工店さまと元請さまをマッチング。元請けさまも施工店さまもどちらも笑顔になるつながりをデジタルから育む。



01・02・03 太宰府市のスイミングプールの配管工事。岡田管工の社員と協力会社の職人が連携して施工にあたる。04 岡田管工の加来光介さんは入社2年目。ベテランの職人に技を教わっていると笑顔で話す。05 スイミングプール工事の全景。06 午後からの配管設置作業の前に、金具を取り付けていく。07 現場に入るとお客さんや職人から次々に声がかかる。其田SEの人柄の良さが笑顔に現れている。08 手を休めるときは冗談を飛ばすけれど、仕事が再開すれば一瞬で職人の顔になる。

つながる仕事 かつては「渡辺パイプのサービスセンター」から、これからは「セディア・コネクト」から。つながる仕事はデジタルからも育まれていく。

Chapter

2

共創が 育む 未来へ。

Towards a future fostered by co-creation.

人と人が出会い、そこに仲間が加わることで
新しいことが生まれる。

生活インフラの現場を見ていると本当にそうだと実感する。
工事や営農は未来を形にすること。それは未来の笑顔を作ること。
ひとりではできないことも、人とつながることで動き出す。
そこから未来が生まれてくる。

共創と未来を育むことは、同じ言葉なのかもしれない。

生活インフラの向上のために、
同じ業種の企業と、あるいはまったく異業種の企業と、
未来を動かそうとする取り組みを追った。



つながる仕事

地域の未来へつながる農業を

農業で起業して大きくなった。次は人や地域といっしょに大きくなりたい。



221

株式会社 SaTi

上) SaTiは農業を学ぶ人を積極的に支援している。山本真路さんは1年後に独立予定。 下) 渡辺パイプのハウスの点検をいっしょに行うSaTiの山本翔史さんと渡辺パイプ部長の菅原。



01

02



イチゴ作りから始め、農業の可能性を育て、人や地域の活性化へ。

株式会社 SaTi 代表取締役の山本翔史^{さねふみ}さんは、「土地なし」「経験なし」の状態です。土地を貸してくれる場所を選び、イチゴ栽培も坪あたりの収入が多いという理由で選んだ。「まったくゼロからの出発でしたが、農業は攻めるほどに売上げが上がるのことがわかりました」。試行錯誤をしながら懸命に取り組んだ。人に指示されることはない。やりたいようにやれる。研修をした農場の面積(約6,500㎡)を超える農場にすることを目標にした。起業から7年、現在の栽培面積は約12,000㎡に達している。

山本さんと渡辺パイプのつながりが加速したのは三重県玉城町の地域振興事業を通してだった。新規就農者の採用を増やして地域を活性化したい。玉城町の思いに賛同した渡辺パイプは企業版ふるさと納税を行った。

地域振興事業が本格化して、適合事業社に選ばれたのが山本さんの SaTi だった。「人を呼ぶには働くところが必要です。農業をその受け皿にしたいんです。未経験の方には私が一から学んだノウハウを提供する。数年、学んでもらって独り立ちしてもらおう。いっしょに働いた人も、地域も大きくなっていくのが私の夢です」と山本さんは笑顔で言う。その隣で渡辺パイプ中部関西統括部部長の菅原は笑顔でこう言う。「山本さんは人を育てることに積極的に取り組まれてこられました。渡辺パイプにもそのノウハウはあります。今後は玉城町とも連携して、農業による地域振興にも貢献できたらと考えています」。イチゴを作ることから始め、農業の可能性を育て、人や地域の活性化へつなげていこうとする山本さん。それはまさにつながる仕事に他ならない。



株式会社 SaTi^{サティ} 三重県度会郡玉城町

栽培作物：イチゴ

代表取締役 山本 翔史^{さねふみ}さん

玉城町は風が強い地域です。渡辺パイプのハウスは耐風性に優れ、しかもハウス内が明るく作業がしやすいです。それにパイプが美しいのには驚きましたが、作業をしても気持ちが良い前向きになるようです。



アグリカルチャークラブ

学ぶ、つながる、実践するをテーマに、成長をめざす営農家さまの会員組織。SaTiの山本さんにもオンライン農場見学会の講師で登場していただきました。



01-08) 作物の成長を確かめながら、新規就農者のさらなる支援など、次の展開の打ち合わせをする。02) 3棟あるハウスのひとつが渡辺パイプのUFCハウス。丸屋根型の風に強いハウスだ。03) イチゴの収穫作業をする山本真路さん。数年後には独り立ちする予定。04) 広々としたハウス内は作業性を追求したベンチ設計になっている。05) かおり野、紅ほっぺ、オICベリー、アオハルカと、主に4種類のイチゴを栽培。06) 玉村泰希は2024年3月に独立。07) 収穫されたイチゴはすぐに選別されてパッキング。各地へ出荷される。

つながる仕事

渡辺パイプはハウスの開発や販売だけでなく、営農家さまといっしょに農業の未来、地域の未来へつながる活動も展開している。

つながる仕事

オンラインワンのチカラを集める。

渡辺パイプの商品供給力と、共和ハウジングのデザインが造る
これからの住まい。



222

共和ハウジング株式会社

左) 大工を志望して入社した新入社員。協力会社の職人を見て、真似て、学んでいく。 右) 現場を訪れた渡辺パイプ長野住設サービスセンター所長の石井。次の商品の納入時期について確認する。



01



02

渡辺パイプの全国3,000社以上のメーカーネットワークが、共和ハウジングのデザインの一端を担っている。

「他社ができることをしても意味はないと思うのです」と、オンリーワンの住まいをめざす共和ハウジング代表取締役の久保村歩くほむら あゆむさんはそう言う。共和ハウジングは長野県を中心に注文住宅の設計・施工・販売をしている。斬新でスタイリッシュなデザインは他社の物件と一線を画する。久保村さんは言う。「弊社の住まいはすべてモデルハウス。建売住宅とは呼ばず、販売型モデルハウスと言っています」。家族のストーリーに寄り添う住まいを求めて施主が次の施主を呼び、年間着工件数は毎年、順調に増えている。成長の鍵を伺うと、「注文住宅のクオリティーを建売住宅並の価格で実現している点」と久保村さんは答えた。その一端を担っているのが渡辺パイプの商品供給力だ。久保村さんは笑顔で理由を教えてくれる。「ブランド名は弱くてもデザインと機能に優れた製品はあるんです。

渡辺パイプはそれらも扱っています。お陰でデザインと機能は同じでもコストを抑えることができています。渡辺パイプ長野住設サービスセンター所長の石井は「ワンメーカーに頼らない。売れ筋商品だけに絞らない。その価値をお届けできるのも全国のメーカーさまとのネットワークがあるからです」と言う。「デザインする人、商品を届ける人、造る人、そして住む人。誰が欠けてもいい住まいは生まれません。社名の『共和』には『共輪』という意味を込めています」と久保村さんは言う。まさに共に造るのが住まいで、その一員に渡辺パイプがいる。共和ハウジングの住まいや想いが施主の心に響く理由がわかる気がした。

共和ハウジング株式会社

長野県長野市

事業内容：戸建て住宅の設計、施工、販売、リフォーム、他
<https://kyowahousing.co.jp>

代表取締役 久保村 歩さん

職人の技も私どもの大きなチカラです。こだわりのデザインを涼しい顔でカタチにしてくれる技。弊社にも今年、大工志望の社員が2名入社しました。家族のストーリーが息づく住まいは、確かな造り込みがなくては実現しません。



商品供給力

3,000社以上のメーカーさまとお取引をし、10万点以上の商品を取り扱っています。そして80,000社を超えるお客さま1社1社に必要な商品をアッセンブルしてお届けしています。



01) 共和ハウジングのほとんどの住まいはスーパーウォール工法で造っていく。02) モデルハウスを訪れた渡辺パイプ所長の石井。商品がどのように配置されているか確かめる。03) モデルハウスのエントランス。スタイリッシュな階段が印象的だ。04-07) 協力会社の職人さんたち。どの会社とも長年のつきあい。確かな信頼関係で結ばれている。05) 新入社員の倉石さん。確かな腕の大工になることをめざして入社した。06) 共和ハウジングの専務の金井さんと長野住設サービスセンター所長の石井が図面を見ながら商品の打ち合わせをする。



つながる仕事

お客さまが必要とする商品を、必要な場所へ届けること。
 渡辺パイプの流通力と物流力が、お客さまの工事を次へつなげていく。

つながる仕事

業界を知るからこうできている
ホームページがある。

ホームページを制作する企業は多い。
しかし生活インフラ業界を知る制作会社は少ない。
渡辺パイプがつなく理由もそこにある。



223

藤井商事株式会社

左) 出来上がったばかりのホームページを見ながら談笑する藤井商事の藤井さんと渡辺パイプ墨田サービスセンター副所長の新宅。 右) 東京都内の保育園の空調工事。手際よさに目を見張る。



課題解決の向こうにある笑顔のために。 お客さまのニーズに応えるホームページへで未来へつなぐ。

「私どもは弊社の仕事を総合設備業と呼んでいます」と藤井商事株式会社代表取締役の藤井忠平さんは言う。藤井商事に頼めばワンストップで任せることができる。確かな仕事が評判を呼び、水道から空調、ガス、設備とあらゆる設備工事に事業を広げている。仕事は関東一円にまたがる。神奈川の空調工事では社員の清水翔太さんが泊まりがけで1週間の工事を監督していた。東京の取材先では藤井さん自らが現場に立っていた。忙しそうに職人を指揮する藤井さんはその手を止めて、笑顔でこう言う。「お陰さまで仕事は2024年の末まで埋まっています。腕利きの協力会社が支えてくれているのが私どもの財産です」。

しかし藤井商事に課題がないわけではない。大きな課題は人手不足だ。「仕事は集まるのに、社員が集まらないので受けることができないことがありました。その課題の相談に渡辺パイプが乗ってくれました」と藤井さんは言う。「商品セミナーへ起こしくださった時に、弊社と協業しているホームページ制作会社をご紹介します」と渡辺パイプ墨田サービスセンター副所長

の新宅が言うと、「決め手は私どもの業界を熟知した制作会社だったからです」と藤井さんは教えてくれた。渡辺パイプの「ホームページ作成サポートサービス」を担うパートナー企業は生活インフラ業界のホームページに特化した制作会社。公開後の運用サポートも行う。お客さまや業界の課題に応えるホームページの作成サポートだ。藤井さんは笑顔でこう言う。「顧客をよく知る渡辺パイプだからこそできるホームページ作成サポートです」。



藤井商事株式会社 東京都江東区

事業内容：空調設備工事、衛生設備工事、電気設備工事、他
<https://www.fujishouji.jp>

代表取締役 藤井 忠平さん

仕事を集めるホームページは要りません。人が集まるものにしてほしいと依頼し、何度も打ち合わせを重ねて2023年6月に公開しました。人が集まれば、もっと依頼に応えることができます。今後の採用の動きが楽しみです。



ホームページ作成サポートサービス

渡辺パイプのパートナー企業が課題に応えるホームページをご提案。生活インフラ業界に精通した専門スタッフがお客さまや業界が必要とするホームページ作成をサポートしています。



01) 協力会社の職人が屋根裏の空調配管を整える。見えないところでも手を抜かない。
02) 平塚の物流倉庫の空調工事。藤井商事の清水さんと職人が、屋根裏の状態を見ながら次の工程を確認する。03・07) どの現場でもいい仕事をする人は笑顔も素敵だ。
04・05) 保育園の工事。隣の部屋では園児たちを保育中なので、安全性とスピードが求められる。06) 現場の隅で工事の進行を確認する藤井商事の清水さん。

つながる仕事 業界を知るからこそできる、結果を出すホームページ。
お客さまをサポートし、次のステージへとつないでいく。



渡辺パイプの 共創の取り組み。

もっと未来を笑顔にするために。
価値あるサービス、役立つサポートを
お届けするために。

渡辺パイプは、他にも
つながる仕事、つながる取り組みを
加速させています。

その一例をご紹介します。



case 1
業界を知る制作会社との協業で、
お客さまの課題に応えるホームページを。

ブランニュー BRANU × 渡辺パイプ

集客と採用は企業にとっての大きな課題です。それは生活インフラの業界も同じ。特に人手不足は深刻です。そんな課題解決のひとつとして渡辺パイプはホームページ作成サービスを立ち上げました。きっかけはBRANU 株式会社との出会い。建設業界の中小企業に特化した建設 DX プラットフォーマー企業です。ホームページを制作する企業はたくさんありますが、建設業界に特化したところはありません。生活インフラ業界のお困り事を知り、専門用語も理解し、制作事例も5,000社以上。つまり渡辺パイプのお客さまの課題に応える、的を射たホームページ作成には最適な企業なのです。さらにホームページを作成した後の運用も徹底

的にサポートするので、運用は苦手という企業さまも安心して依頼していただけます。渡辺パイプとBRANU の協業による「ホームページ作成サポートサービス」。めざすのは仕事や人が動くホームページ。課題解決型のホームページをお考えのお客さまは、弊社SEへお気軽にお問い合わせください。



case 2
配送プラットフォーム「PickGo」を活用して、
誰もが笑顔になる物流のカタチを。

CBcloud × 渡辺パイプ

渡辺パイプは、業界トップの物流ネットワークを誇ります。配送プラットフォーム「ピックゴー」を運営するCBcloud 株式会社との出会いは、渡辺パイプの配送ネットワークの可能性を一層広げるものです。共創の目的は誰もが笑顔になる、これからの物流の仕組みをめざすこと。例えば緊急配送が必要な時の対応、また、メーカーさまからの商品の荷受配送を恒常的に行うなど、お客さまに対してさらなる利便性を提供しています。商品が届かなければ、お客さまは工事を進めることができません。しかしながら、物流 2024年問題で車両確保が大きな課題となっています。そんな課題を解決してくれるパートナーとしてのピックゴーは、目的に応じた車種手配や

配送面で非常に心強い存在となっています。これからも世の中の流れに柔軟に合わせて、届ける人も受け取る人も、すべての関係者が笑顔になれるような物流のカタチを築いていきます。



SEDIA SUSTAINABILITY

生活インフラをつなぐ。
つなぎ続ける。

とぎれたらつなぐ。つなぎ続ける。
どんな時も、その先の未来のために。

2024年1月1日、能登半島を巨大地震が襲いました。亡くなられた方々にお悔みを申し上げるとともに、被災された皆さま、並びにそのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。石川県と富山県の渡辺パイプは2日から稼働。社員やお客様の安全を確認して、できる限りの支援をする一方で、生活インフラをつなぐ企業として、支援と復旧に全力で取り組んでいます。災害時でもいち早く資材をお届けできるように災害

支援物資の在庫を強化してきました。メーカーさま6社と「全国管工事業共同組合連合会」による「ライフライン・ネット」も状況に応じた稼働をしています。渡辺パイプができること。お客さまやメーカーさま、地域、グループ企業といっしょに取り組むこと。どんな時も、つなぐ努力を怠らない。つなぎ続ける。それが渡辺パイプのCSR活動であり、創業以来変わることのない使命です。

様々なつながりをチカラに、生活インフラの向上に取り組んでいます。

お客さまとつながって。

渡辺パイプは全国の100,000社を超えるお客さまとお取引をしております。商品とサービスをお届けすることでお客さまの工事を支援。いっしょに生活インフラの向上に取り組んでいます。



メーカーさまとつながって。

渡辺パイプは3,000社を超えるメーカーさまから商品を仕入れています。取り扱い商品は100万点以上。メーカーさまとの強固な連携によって必要な商品をお届けしています。



地域とつながって。

全国600カ所のサービスセンターが各地域のお客さまのニーズにお応えしています。また、地域だけではできないことも、全国ネットワークをフルに活かしてお応えしています。



社員とつながって。

全国各地のお客さまの元へ何う3,000人以上のSEたち。何よりお客さまと地域のことを知るSEは全社機能をフルに活用して、1社1社のお客さまの課題に応える提案をしています。



SEDIA
SYSTEM

SMILE BOOK Vol.18

つながる仕事

Towards some connected works.

きっと未来は、 つながるところから 生まれてくると思う。

生活インフラの向上に取り組むことこそセディアグループのサステナビリティ。

未来へつながる取り組みをコツコツと積み重ねています。

その一例をご紹介します。



SMILE BOOK Vol.18

つながる仕事

Towards some connected works.

ZEBサービスセンター

「ZEB」は快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの取支をゼロにすることをめざした建物。渡辺パイプは2020年の岐阜SCを皮切りに、ZEBサービスセンターを次々にオープンしています。高气密高断熱や制御センサーなどにより徹底的な省エネを実現し、エネルギーをクリーンエネルギーによって補うことで、未来へ続く職場環境づくりに取り組んでいます。



げんき農場

渡辺パイプは千葉県八街市と埼玉県羽生市で直営農場を運営しています。八街の「げんき農場」ではトマト栽培のノウハウを身につけてハウス開発へ活用。一方、羽生の「げんき農場」ではイチゴ栽培を通して、農業をめざす人、参入する人など、次世代農家の育成に取り組んでいます。営農家の高齢化や従事者の削減など農業が抱える課題に応え、明るい未来へ続く取り組みを行っています。



キッチンカー

農作物を栽培しているとどうしても廃棄物がでます。フードロス問題は農業の大きな課題のひとつ。「げんき農場」も例外ではなく、その解決のためにキッチンカーを使って、八街の農場のトマトで作ったミネストローネや、羽生の農場のイチゴで作ったスムージーなどを販売しています。羽生市や加須市のイベントなどに積極的に出展して、フードロスだけでなく、地域の活性化にも貢献しています。



デジタルソリューション

リアルな接客はもちろん大切です。しかしビジネスではデジタルならではの利便性もあります。それは水と住まいと農業の領域でも同じです。セディアグループは「SEDIAカスタマーWEB」や「セディア・コネク」や「グリーンハウスの見積もりシステム「らくちん」などをリリース。これからも持続可能なビジネススタイルに応えるサービスを開発して、お客さまとともにデジタルで未来へつながっていきます。



EV営業車

渡辺パイプは2022年2月から、営業車として電気自動車（EV）を導入する取り組みを開始。東京のサービスセンターの中にはEV専用の充電施設を設置している所も。そして最近では東京以外のサービスセンターでもEV営業車を導入する動きが始まっています。物流を担う企業としてCO₂排出削減は避けては通れない課題。渡辺パイプは一つ一つ取り組んで持続可能な未来へ貢献していきます。



ふるさと納税

三重県玉城町は、「かおり野・章姫」「次郎柿」「玉城産ブドウ」といった全国に誇れる特産品の生産、並びにブランド化を推進しています。一方で、農業従事者の減少などの課題にも取り組み、新規就農者の採用増、地域振興事業を推進しています。渡辺パイプはその取り組みに共鳴。農業の活性化と持続可能性に貢献したいという想いから企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を通じて寄付いたしました。



フードバンク

社会のために、そして地域と共生できる環境づくりのために渡辺パイプは「フードバンクちば」と連携。千葉県内のフードドライブ拠点で集めた食品の配送を、渡辺パイプの配送機能を活用してサポート。「フードバンクちば」が抱える配送リソース不足や人的負荷の課題に応える活動を行っています。



サステナブルな商品

住建事業部が扱う「大型パネル」は、安定した品質と労働負荷の軽減を両立して、職人不足や生産性に悩むお客さまに応えることで企業のサステナビリティに貢献。また、グリーン事業の「汚泥肥料」は、下水道の汚泥を有機肥料に再利用する商品。有機なので食の持続可能性にも応えます。セディアグループはお客さまや社会の元気な未来へつながる商品をもっと提案していきます。





つないでいく。 生活インフラも、未来も、 笑顔と共に。

つながるところから未来は生まれます。
だからこそ笑顔の取り組みは、まだまだ続きます。



社名 渡辺パイプ株式会社
本社 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2
経団連会館12F
創業 1953年12月8日
代表者 代表取締役社長 渡辺 圭祐
資本金 100億9,918万4,000円
年商 4,120億円(グループ売上:2024年3月期見込)
従業員数 5,899名(グループ全体:2024年4月1日見込)
業務内容 【管工機材の販売】
配管材、バルブ類、ポンプ、衛生器具、給排水金具、他
【住宅設備機器の販売】
住設機器、空調機器、厨房機器、給湯機器、建材、他
【電設資材の販売】
電気工事材料、電線、照明器具、配電機器、他
【温室の設計・施工、販売】
各種温室の設計・施工、各種ビニールハウス及び部品・資材、
各種被覆資材、灌水装置、自動カーテン装置、天窓・側窓開閉装置、
冷暖房装置、温室環境制御装置、養液栽培システム、他



グループ会社 株式会社ツギテの三共 株式会社エドビ
株式会社鶴岡屋 協伸株式会社
ヤナギ管材株式会社 西日本グリーン販売株式会社
中村機械工具株式会社 みかど化工株式会社
株式会社大成商会 株式会社太総
日製電機株式会社 株式会社げんき農場
大野バルブ産業株式会社 Watanabe Pipe Vietnam Co.,Ltd.(WPVN)
平和テクノ株式会社 げんきビジネスサポート株式会社
渡辺パイプ沖縄株式会社 株式会社セディアビーエス
台湾渡邊建材股份有限公司 株式会社アサマリゾート
株式会社WATER WORKS NPO法人浅間山麓国際自然学校
株式会社ワークサポート 公益財団法人セディア財団
株式会社プロスパー
パイプシステム工業株式会社
株式会社セディアトランスポート
株式会社セディアC&P

本レポートについてのお問い合わせは、経営企画ユニット 広報・社長室グループまで。
TEL:03-6478-1335 FAX:050-3535-9408

水から未来を考える。自然の学びを未来へ活かす。
セディア財団はスマイルプロジェクトを応援しています。

セディア財団 全国小学生かべ新聞コンテスト

「わたしたちのくらしと水」をテーマに、全国の小学生を対象にした、かべ新聞コンテストを開催しています。毎年たくさんのご応募をいただいております。第9回のコンテストでは、全国から4,125作品(応募校数:145校)が集まりました。



高校生が描く明日の農業コンテスト

全国の農業高校に通う生徒を対象に「わたしはこんな方法で農業を元気にする」というテーマでレポートを募集するコンテスト。第7回は過去最多となる794作品(応募校数:17校)ものご応募をいただき、セディア財団賞受賞者には副賞として東京研修旅行が進呈されました。



水・住まい・農業の明日へ。

渡辺パイプ株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2

経団連会館12F

TEL.03-6478-1335 FAX.050-3535-9408

<https://www.sedia-system.co.jp>



SEDIA SMILE
PROJECT
次へ。

私たちは、暮らしに寄り添う企業として、お客さまやお取引先さま、地域の方々の笑顔を想い、さまざまな商品やサービス、ソリューションをお届けしています。「水」「住まい」「農業」の明日を描く、すべては皆さまの暮らしと笑顔のために。